

### 2021年度 成果

前半新型コロナの影響が続いたためよさこい祭りが2年連続で中止になり企画が実施できなかった上、県内各地の清掃活動も規模を縮小せざるをえなかった。そのような中、全国有数の釣り人口を誇る高知県内の釣具店とコラボが決定。釣り人にゴミ拾いを促進し、行動変容を目指すほか、全国の釣りが盛んなエリアでも参考になるようなモデル化を進められるよう調整中。この他、ひろめ市場や高知城などの有名スポットのジャックを実施したり、県内最大のスポーツチームとのコラボもスタートさせたりと、今後の取り組みの規模を拡大させていくための土台を作ることができた年度だった。



#### 県内有名スポット 連携モデル

海ごみゼロウィークに合わせてひろめ市場、中心商店街、JR高知城など有名スポットをジャックし、特殊ゴミ箱やライトアップで海ごみゼロを呼びかけた。



#### 釣り人行動変容モデル

県内の釣具店が加盟する釣具商組合とコラボし、ゴミ拾いを促進することで釣り人の行動変容が目標。釣具のごみは全国的な課題で、他エリアでも実施可能なモデル化も目指す。



#### 地元スポーツチーム 連携モデル

県内最大のスポーツチーム高知ファイティングドッグス(野球)高知ユナイテッドスポーツクラブ(サッカー)と連携し、試合会場で海ごみゼロを呼びかけ。



#### 地元高校商品開発モデル

高知海洋高校と連携し、ツナ缶を開発＆販売。毎回即売売の人気商品とコラボすることで広く海ごみゼロを啓発。

### メディア露出



5/31「Nスタ内ローカルニュース」  
・ごみゼロの日



6/5「報道特集内  
ローカルニュース」  
・海ごみゼロウィーク



6/7「からふる」  
・海ごみゼロウィーク



11/3「からふる」  
・スポGOMI甲子園高知県大会  
その他：TV6本

### 2021年度の課題とこれからの展望

2020 - 2021年のCFB事業の結果、自治体・清掃活動をしている団体・参加者へ広く事業認知を図れたが、実施している・参加している人はそもそも海洋ごみに対しても理解の高い人が多かった。来年度は、そもそも清掃活動をしていない、参加する気のない人を巻き込む施策を実施していこうと考えている。特に釣り人の行動変容モデルに関しては、全国3位の釣り人口割合を誇る高知県（人口割合11.2%→約7万人 H29総務省調べ）の釣り人をターゲットとして、事業への接点として釣具店、SNS拡散やイベントを仕掛けていき、県内全域の水源からCFBのムーブメントを起こしていきたい。